

第7回

震災研究連絡会

弘前大学のネットワークで震災研究を広げよう。



日時 2012年1月26日(木) 18:00~

場所 コラボ弘大1F コミュニティ・スペース

司会 片岡 俊一 (かたおか・しゅんいち) 弘前大学大学院理工学研究科 准教授

18:00~18:45

檜橋 貢 (ひまき・みつぐ) 弘前大学大学院地域社会研究科 教授

「津波被災時の住民避難行動と行政～八戸市調査から～」

18:45~19:30

井口 泰孝 (いぐち・やすたか) 弘前大学 監事

「青森県の良さと強みを生かした復興ビジョン」

19:30~20:00 意見・情報交換

※震災対応や震災研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講できます。

※当日2つの報告の後に、震災に関する情報・意見交換を行います。情報をお持ちの方はこの機会にご紹介ください。

※連絡会終了後、有志の懇親会を予定しています。

1月21日(土)

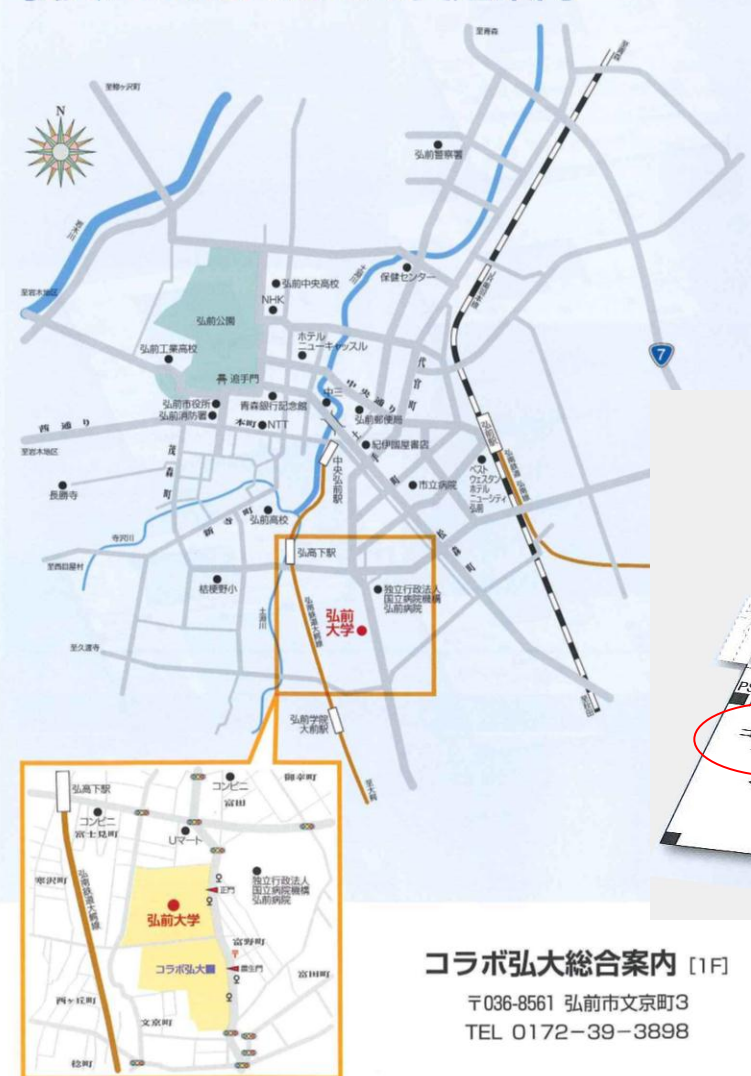
青森県立美術館パフォーミングアーツ

復興支援事業「東北からの声 東北の現在」

が、行われます！！



弘大 コラボ弘大 までの交通案内



コラボ弘大総合案内 1F

〒036-8561 弘前市文京町3
TEL 0172-39-3898

第6回震災研究連絡会は、12月13日に行われた。

前半は、弘前市医師会救急災害対策委員長をつとめられる、EST2 クリニック院長、工藤誠治氏に「震災時の医療救護活動における弘前市医師会の参加」というタイトルでご報告いただいた。救急災害対策委員会の構成や、23年8月の弘前市防災訓練の様子などを交えて、有事の際に専門医療チームDMATが現地に到着するまでのあいだ、医師会が具体的にどのような動きをするのか、災害時支援マニュアルなどについても詳しくお話しいただいた。今後は医療従事者のための災害時被災マニュアルも構築していく考えであるという。

後半の報告者は、弘前大学農学生命科学部の遠藤明氏。「農地土壌の塩類汚染浄化に向けた取組み」というタイトルで、タイの塩類土壌などで実際に行われた塩類除去の具体例や、八戸市で採取した土壌の実験内容などについてご報告いただいた。東日本大震災における農業被害の中でも特に津波を受けて冠水し、除塩が必要な地域で、どのような対応や取り組みが可能であるのかを示された。(S)

第8回連絡会は2012年2月、コラボ弘大1Fのコミュニティ・スペースにて開催予定。

【連絡先】

弘前大学大学院地域社会研究科 檜橋貢研究室(教員室2)

Tel 0172-39-3938 (内線 3938)

Mail himaki@cc.hirosaki-u.ac.jp